

令和4年度

第2回地域授業改善協議会

令和4年7月12日

大分県教育庁

日田教育事務所

本日の挨拶の概要

○ 「子ども軸」で考える

- ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」
- ・ 「3つ資質・能力の柱」の関係性

なぜ「個別最適な学び」なのか？

“役に立つ”日田教育事務所

- 「太造じいさんとガン」⇒「太造じいさんとカルガモ」?? 奈良女子大附属小の実践から

ある理科好きの少年

- ・ 太造じいさん タニシを餌とした仕掛け
⇒ガンは草食性でタニシを食べることはない
- ・ ハヤブサがガンを襲う??
⇒ハヤブサ 最大翼長120cm
猛禽類 1.8kg以下の獲物を捕食
ガン 最大翼長165cm 体重2kg以上
※よってガンがハヤブサを襲うことはない

担任：
よく調べましたね。
〇〇くんらしい学びの
作り方です。

ある理科好きの少年：
ハヤブサとガンが大きさに
戦うわけはなく、きっと太造
じいさんは、カルガモをガン
と間違えたのでしょう

学習権・発達権の保障

参考：個別最適な学びと協働的な学び 奈須 正裕

なぜ、「個別最適な学び」⇔「協働的な学び」の往還なのか？ “役に立つ”日田教育事務所

(問題)

たろう君が1000円を持って、おつかいに行きました。
まずパン屋さんで、250円のパンをかい
次にくだものやさんで120円のリンゴをかい
さいごは、ぶんぼうぐやさんで80円のけしごむをかいました。
おつりはいくらでしょう。

(解答)

$$\textcircled{1} 250 + 120 + 80 = 450$$
$$1000 - 450 = 550$$

$$\textcircled{2} 1000 - 250 - 120 - 80 = 550$$

$$\textcircled{3} 1000 - 250 = 750$$
$$750 - 120 = 630$$
$$630 - 80 = 550$$

(ある子どもの解答)

$$\textcircled{4} 1000 - 250 = 750$$
$$150 - 120 = 30$$
$$100 - 80 = 20$$
$$500 + 30 + 20 = 550$$

あなたなら、
どうしますか？

なぜ、「個別最適な学び」⇔「協働的な学び」の往還なのか？ “役に立つ”日田教育事務所

(ある子どもの解答)

$$\begin{aligned} \textcircled{4} & 1000 - 250 = 750 \\ & 150 - 120 = 30 \\ & 100 - 80 = 20 \\ & 500 + 30 + 20 = 550 \end{aligned}$$

教員：〇〇さん。
どうゆうふうを考えてこの式になったか先生やみんなに教えてくれる？

児童1：パン屋さんがおつりを50円玉でくれなかったら、この式がなくなっちゃう！

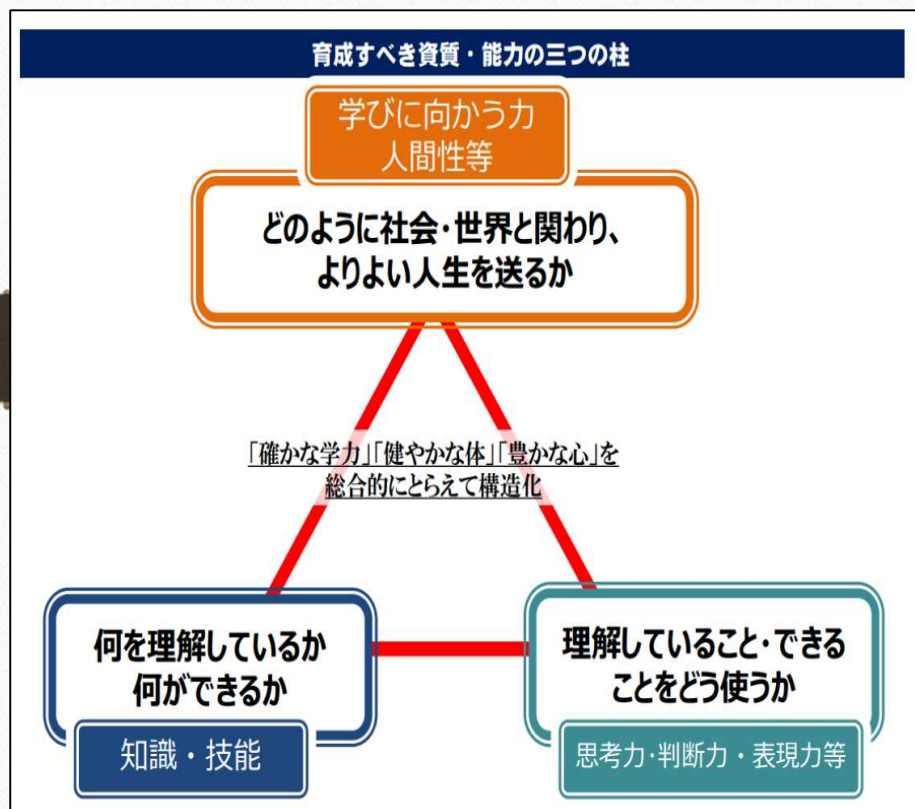
互恵的な学び

教師は41人目の追求者

育成を目指す「資質・能力」と「3つ資質・能力の柱」

“役に立つ”日田教育事務所

学習指導要領の改定のポイント⇒「何ができるようになるか」



- ①知識や技能
- ②思考力、判断力、表現力
- ③学びに向かう力、人間性

何を理解しているか、何ができるか
(生きて働く「知識・技能」の習得)

理解していること・できることをどう使うか
(未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか
(学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵(かん)養)

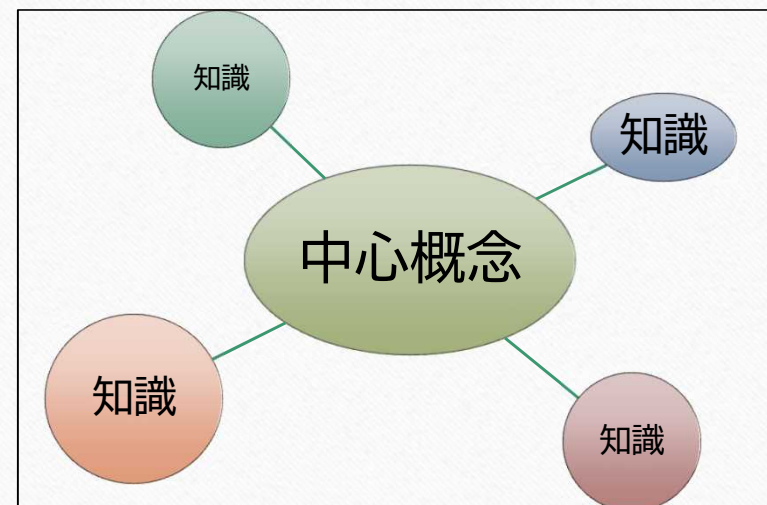
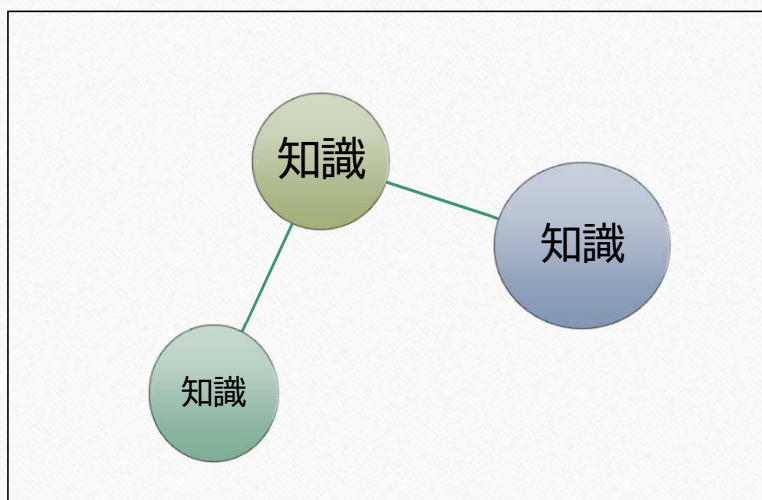
「知識」には大きく分けて2通りの「知識」がある

- 宣言的知識（事実としての知識）
- 手続き的知識＝方法に関する知識

“生きて働く”

「知識及び技能」における知識の構造化（知識）

【ネットワーク化】＝概念化

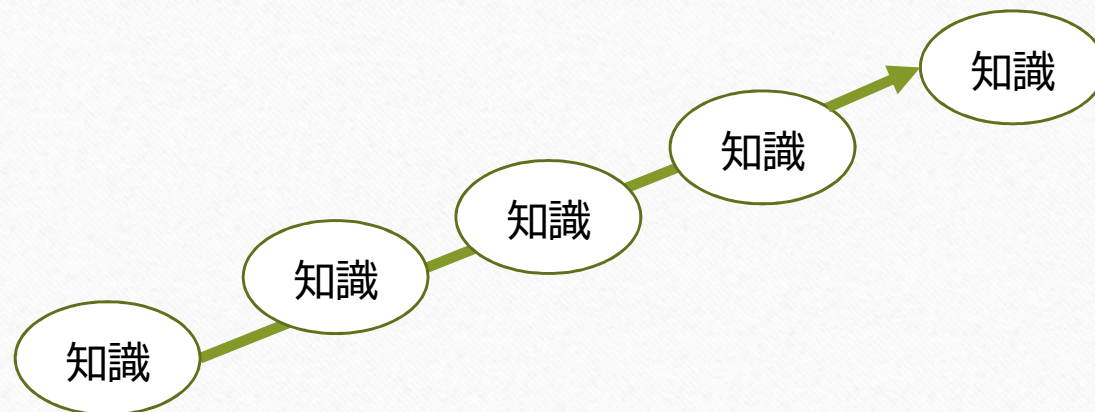


「技能」は「手続き的知識」の集合体

- 手続き的知識 = 方法に関する知識
- 宣言的知識 (事実としての知識)

「知識及び技能」における知識の構造化 (技能)

【パターン化】 = 方法に関する知識がつながるタイプ



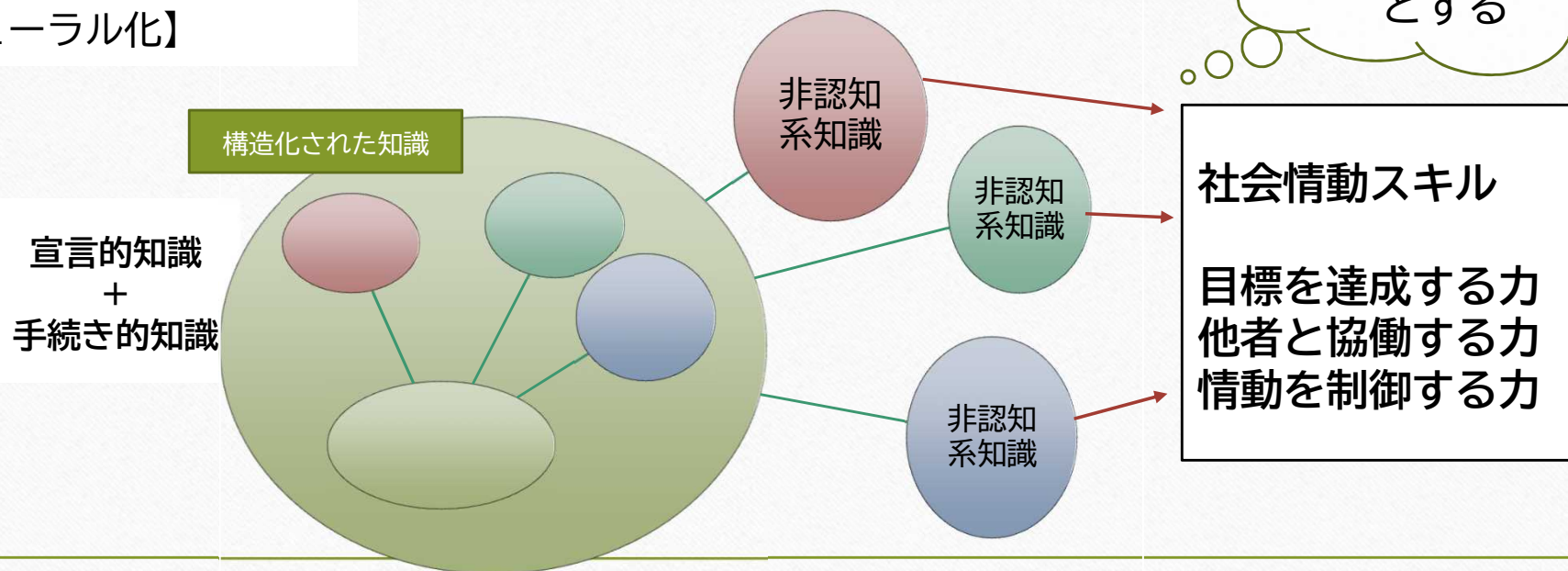
“生きて働く”

「学びに向かう力、人間性等等」における知識の構造化

- ・ 手続き的知識 = 方法に関する知識が宣言的知識（事実としての知識）と態度に関する否認知系の知識がつながる

神経回路のようになる = ニューラル化する

【ニューラル化】



Question

教師の信念とは？

○ポジティブな側面

▲ネガティブな側面

Answer

○ポジティブな側面

- ・自身の授業に責任を持つ
- ・子どもの成長を保障する
- ・自分自身や授業に誠実
- ・教師が本気ならば、子どもはそれ以上に応えてくれる
- ・教師の仕事は、金銭に変えられない

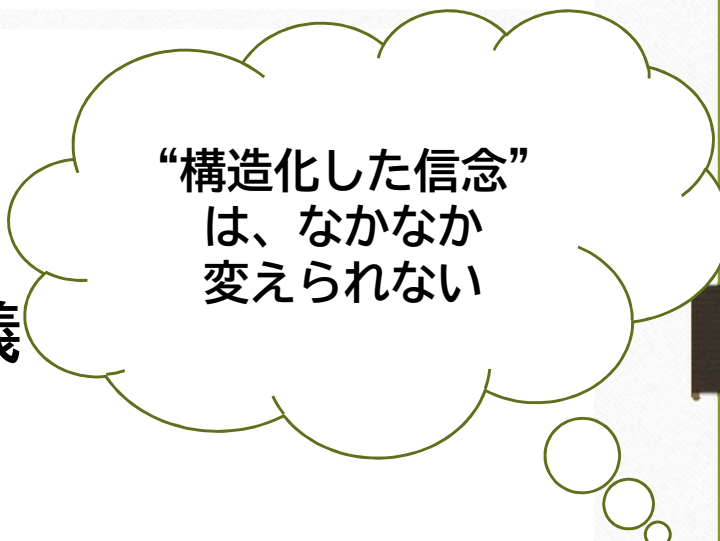
黒羽正見（1999）による

Answer

▲ネガティブな側面

---信念パターンとして---

- ・ 権威性
- ・ マニュアル主義
- ・ 規則主義
- ・ 自己完結性
- ・ 無境界性
- ・ 多忙意識
- ・ 同僚との同調傾向 など



“構造化した信念”
は、なかなか
変えられない

千々布 敏弥 (2021) による